

科目名 Course Name	ガイドヘルパー講座Ⅲ Course of Study on Mobility Guide III				ナンバリング No.	J4-011	
年次	2 年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳、大熊 信成、吉田 志保						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 2F・3F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修／選択	選択(ガイドヘルパーユニット必修)						
関連 DP	DP1, DP2						
授業の概要と 到達目標	視覚に係る基本的な人体の構造と機能を概観し、視覚障害の原因疾患と症状およびその心理を理解する。そして、見えにくい・見えないことによる日常生活上の障害から生活ニーズを捉える。これらの学びをもとに、同行援護従事者としての基本姿勢や留意点、基本技術を習得する。 ①同行援護の法的位置づけと従事者としての役割を説明できるようにする。 ②視覚障害に起因する医学的知識から、生活障害および心理状態をむすびつけることができるようにする。 ③同行援護の業務内容を説明できるようにする。 ④視覚障害のある人に対し、適切な同行援護の支援を行うことができるようにする。						
授業の方法	講義、演習、視聴覚教材の視聴、グループワーク等、多様な授業形態をとる。技能演習(誘導歩行の練習)に関しては、教室の他、屋外でも実施する。						
学習成果	L01	視覚障害のある人の心身の状況および日常生活上の不自由さを説明することができる。適切な同行援護サービスを提供することができる。					
	L02	視覚障害のある人と適切に接することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	演習後は振り返りの時間を設け、補足説明を加えながらフィードバックする。						
教科書／ 参考図書	新版 同行援護従業者養成研修テキスト 中央法規出版 その他、適宜資料を配布する。						
履修上の留意点 やルール等	●ガイドヘルパー講座Ⅲのみの履修は認めない。ガイドヘルパー講座Ⅰ、Ⅱも必ず履修すること。●ガイドヘルパー講座Ⅰ～Ⅲの単位を取得し、必要な手続きをすると、「修了証明書」が発行される。●演習時は動きやすい服装にし、アイマスクを持参すること。また、演習に係る一部費用は自己負担となる。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合				L01	L02
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	S 評価は、①使用教材を準備している。②積極的に取り組んでいる。③必要なことをノートにとっている。④演習時は身だしなみを整えている。		40				
レポート／作品							
発表							
小テスト							
試験	同行援護のサービス、視覚障害に関する疾患、同行援護の基礎知識・技術に関する問題を穴埋めや選択、記述形式で出題する。	60					
その他							
合 計		60	40				

回数		授業計画
1	授業内容	外出保障(60分) 視覚障害者(児)の心理①(30分) (大熊)
	事前・事後学習	テキスト P2～8、31～40 を読む。外出保障の意義をまとめる。 視覚障害者(児)の心理と心理的援助のあり方を考える。
2	授業内容	視覚障害者(児)の心理②(30分) 視覚障害者(児)福祉の制度とサービス①(60分) (大熊)
	事前・事後学習	テキスト P41～53 を読む。障害者福祉制度の概要やサービスの内容をまとめる。
3	授業内容	視覚障害者(児)福祉の制度とサービス②(30分) 同行援護の制度(60分) (大熊)
	事前・事後学習	テキスト P54～62 を読む。同行援護制度の概要をまとめる。
4	授業内容	視覚障害者の理解と疾病(90分) (吉田)
	事前・事後学習	テキスト P9～30 を読む。目の構造や名称、物が見えるしくみ、視覚障害の原因疾病と症状を確認する。
5	授業内容	同行援護従業者の実際と職業倫理①(90分) (吉田)
	事前・事後学習	テキスト P63～76 を読む。同行援護従業者の業務と実務上の留意点をまとめる。
6	授業内容	同行援護従業者の実際と職業倫理②(60分) 情報提供①(30分) (吉田)
	事前・事後学習	テキスト P63～76、P77～88 を読む。同行援護従業者の職業倫理を確認する。 情報支援の重要性を踏まえ、言葉による情報提供の方法を確認する。
7	授業内容	情報提供②(90分) (吉田)
	事前・事後学習	テキスト P77～88 を読む。情報提供の方法と留意点をまとめる。
8	授業内容	代筆・代読(90分) (久保)
	事前・事後学習	テキスト P89～106 を読む。代筆・代読の基本を覚える。代筆・代読、点訳、音訳の方法とポイントを確認する。
9	授業内容	誘導の基本技術①:基本姿勢、歩く、椅子への誘導(90分) (久保)
	事前・事後学習	テキスト P107～132 を読む。視覚障害者の誘導方法を確認・練習する。
10	授業内容	誘導の基本技術②:基本姿勢、歩く、狭いところの通過、椅子への誘導(90分) (久保)
	事前・事後学習	テキスト P107～132 を読む。視覚障害者の誘導方法を確認・練習する。
11	授業内容	誘導の基本技術③:ドアの通過、立ち位置交換、方向転換、段差・階段の昇降(90分) (久保)
	事前・事後学習	テキスト P107～132 を読む。視覚障害者の誘導方法を確認・練習する。
12	授業内容	誘導の基本技術④:エスカレーター・エレベーターの乗降(90分) (久保)
	事前・事後学習	テキスト P107～132 を読む。視覚障害者の誘導方法を確認・練習する。
13	授業内容	誘導の基本技術⑤:演習の振り返り・まとめ(60分) 誘導の応用技術(場面別・街歩き)①:街歩きの支援技術(30分) (久保)
	事前・事後学習	テキスト P133～143 を読む。誘導時の留意点をまとめる。誘導方法を確認・練習する。
14	授業内容	誘導の応用技術(場面別・街歩き)②:場面別支援技術(90分) (久保)
	事前・事後学習	テキスト P144～150 を読む。各場面をイメージし、誘導方法を確認・練習する。
15	授業内容	交通機関の利用:車の乗降(90分) (久保) ※第16回授業 交通機関の利用:演習の振り返り・まとめ(60分)
	事前・事後学習	テキスト P151～159 を読む。乗降および乗車中の留意点をまとめる。